

## 業務標準化による 効率化と脱属人化

組織改革や外部環境の変化に追従した業務プロセスの見直しの遅れによる業務の属人化や非効率を改善するため、組織的なPDCA及び検証・妥当性の確認が確実に機能する業務プロセスの明確化、業務フローの標準化。

### ▼ 取り組み内容

#### Step 1 現状把握

業務内容や業務の流れ、やり方、どこにノウハウがあるか等について、現場ヒアリングを行うとともに資料等を確認した。

#### Step 2 課題設定

業務を見える化し、より効率良く、効果的になるよう、業務を整理整頓した。整理された業務をフロー図やプロセス図を使った業務手順書として形式知化した。

#### Step 3 具体的施策

業務の見える化が進んだことにより、属人的になっていた業務が定型化するきっかけが作られた。また業務の見直しにより、不要なモノ、本来必要であったが現時点で不足しているモノを明確化した。

#### Step 4 効果と今後の課題

今回の成果物を利用し、今後組織で自走しながら改善ができ、結果を出せる組織へ変わっていくことが最も重要。引き続きの伴走によりこの取り組みが続けられる。

ふくい企業価値共創ラボ 事例

CASE:

## 業務の見直しから 組織の効果検証を 確実にする仕組化へ

受入企業

### 株式会社伊藤電機

執行役員 事業統括部長 近藤 祐樹 さん (写真左)

総務部 部長 小谷 克己 さん (写真右)

1909年創業。人々の生活や活動、未来へと歩む道に暗闇をおかない、明るく照らすことを使命とし、電気を通じ地域・社会とともに発展。そして現在、VUCA時代を生き残り、更に成長するため「Smart Life with Electricity」の実現をパーパスとし、電気のあるすべての領域で、時代が求める最適なソリューションを提供し続けている。

協力研究員

井利 順一 さん (写真中)

埼玉県出身。東京理科大学で物理学を専攻。卒業後は電機メーカーに技術職で就職。その後食品メーカーや生活サービス産業で営業、品質保証、新規事業等に従事。ISO導入にも携わりながら、事業推進、組織の仕組化や改善に取り組む。仕事で大切にしていることは、現場に寄り添い伴走すること。今回のプログラム参加をきっかけに独立。